

08

骨切りガイドを活用した  
両側同時人工膝関節置換術片足だけの手術と同等の  
手術時間を実現

近年、人工膝関節置換術において、両膝の手術を同時に行う両側同時手術の取り組みも見られるようになってきた。手術からリハビリまで一度の入院で済むほか、両足のバランスも整えやすくなる利点を持つ手術だ。「ただ、患者さんに余計な負担をかけることなく、安全に行おうとすれば、手術時間や、リハビリなどの術後の治療の期間を、片側だけの手術と同程度にとどめなければなりません」と語るのは、いしずえ整形外科の大久保俊彦氏。

大久保氏は、安全な手術を目指し、特に人工膝関節置換術において「骨切りガイド」を活用した手術を行っている。術前にMRIあるいはCTから作成した立体



院長  
大久保 俊彦 先生  
いしずえ整形外科

〒244-0003 神奈川県横浜  
市戸塚区戸塚町16-12 フタバビル501  
TEL.045-881-1188  
<http://ishizue-seikei.com/>

画像をもとに、患者一人ひとりの骨に適合するガイドを作成。手術ではそれに基づいて骨を切除し、靭帯じんたいのバランスを取っていくのだ。結果として術中に専用の機械で設置の位置を定める必要もなくなり、短時間での手術が可能になるといえる。あわせて、股関節、足関節それぞれの中央部に置いた特殊なマーカーを軸に、3次元的に位置や角度、重心を確認しながら処置を進めることで、より正確な手術を目指している。「骨切りガイドとマーカーによる2重チェックを行い、誤りがないよう手術を進めていきます」と大久保氏は説明する。



手術で用いられる「骨切りガイド」の例。従来よりも切開が小さく、周辺の組織を傷めることのない手術が可能になる